



鏡が沖

Kagamigaoka 第367号



飛躍の年(丙午)が始まりました

校長 杉谷 明

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、鏡が沖中学校の教育活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。保護者・地域の皆さまのご協力があってこそ、子どもたちは安心して学び、のびのびと成長することができます。改めて、深く感謝申し上げます。鏡が沖中学校では、今年も「保護者や地域に信頼され、安心して子どもを任せられる学校」を目指します。どうか本年も、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨今、私たちを取り巻く社会は、かつてないほどの速さで変化しています。AI（人工知能）の急速な発展により、便利さとともに新たな課題も生まれています。世界情勢は不安定さを増し、地球温暖化の影響による異常気象が各地で深刻化しています。さらに、物価の高騰など、日々の暮らしにも不安を感じる場面が少なくありません。このような時代は、「正解のない問い」に向き合う力が求められます。知識だけではなく、変化に柔軟に対応する力、他者と協力しながら課題を乗り越える力、そして未来を自ら切り拓く力が、これからの中学生には必要不可欠です。

ところで、「VUCA（ブーカ）」という言葉をご存じでしょうか。これは、変動性（Volatility）・不確実性（Uncertainty）・複雑性（Complexity）・曖昧性（Ambiguity）という4つの要素からなる言葉で、先の見えにくい、変化の激しい現代社会の特徴を表しています。令和8(2026)年の世界は、技術の進歩や気候変動、国際的な緊張などが私たちの生活に大きな影響を与えていました。こうした変化は、子どもたちの未来にも深く関わってくることでしょう。しかし、VUCAの時代は、ただ不安を感じるだけの時代ではありません。変化を前提としながら、柔軟に考え、他者と協力し、新しい価値を生み出す力を育むチャンスでもあるのです。鏡が沖中学校では、生徒たちがこのような時代をたくましく、しなやかに生き抜くために、次のような力を育てていきたいと考えています。

- ・状況に応じて考え方や行動を変える「柔軟性」
 - ・新しいアイデアを生み出す「創造力」
 - ・多様な価値観を理解し、受け入れる「共感力」
 - ・答えのない問いにも向き合う「探究心」
- これからも、地域とともに歩む学校として、子どもたちの未来を見据えた教育を進めてまいります。



終わりよければすべてよし

(生徒の皆さんへ)

「終わりよければすべてよし」という言葉を聞いたことがありますか？これは、「途中でうまくいかないことがあっても、最後にうまくいけば、それでよい」という意味のことわざです。でも、実はこの言葉には、もう少し深い意味があります。この言葉には、「よい終わり方をするために、しっかり準備をして、最後まであきらめずに努力する」という前向きな気持ちが込められています。つまり、「最後をよくするために、今できることを全力でやろう」という考え方です。一方で、「結果よし（結果オーライ！）」という言葉もあります。こちらは、「たまたま最後にうまくいった」という意味で使われることが多いです。「努力や準備があったわけではなく偶然よい結果になった」という意味合いがあります。この2つの言葉の違いは、「どれだけ準備をして、努力を重ねたか」という過程（プロセス）にあります。

さて、1月が終わります。本号発行日の1月30日を除いた登校日は、3年生は卒業式まで23日、1・2年生は終業式まで34日です。年度末を迎えるにあたり、ぜひ「終わりよければすべてよし」と言えるようにしてほしいと思います。

そのために、まずは自分の最高の終わり方（卒業・高校進学、進級の姿）を想像し、その姿に向かい「目標」「志」を立て、一歩一步前へ進めるよう努力するしかないと思います。生徒の皆さん、2月が勝負です。2か月後、全校で「終わりよければすべてよし」と、晴れやかな笑顔で言い合えることを楽しみにしています。

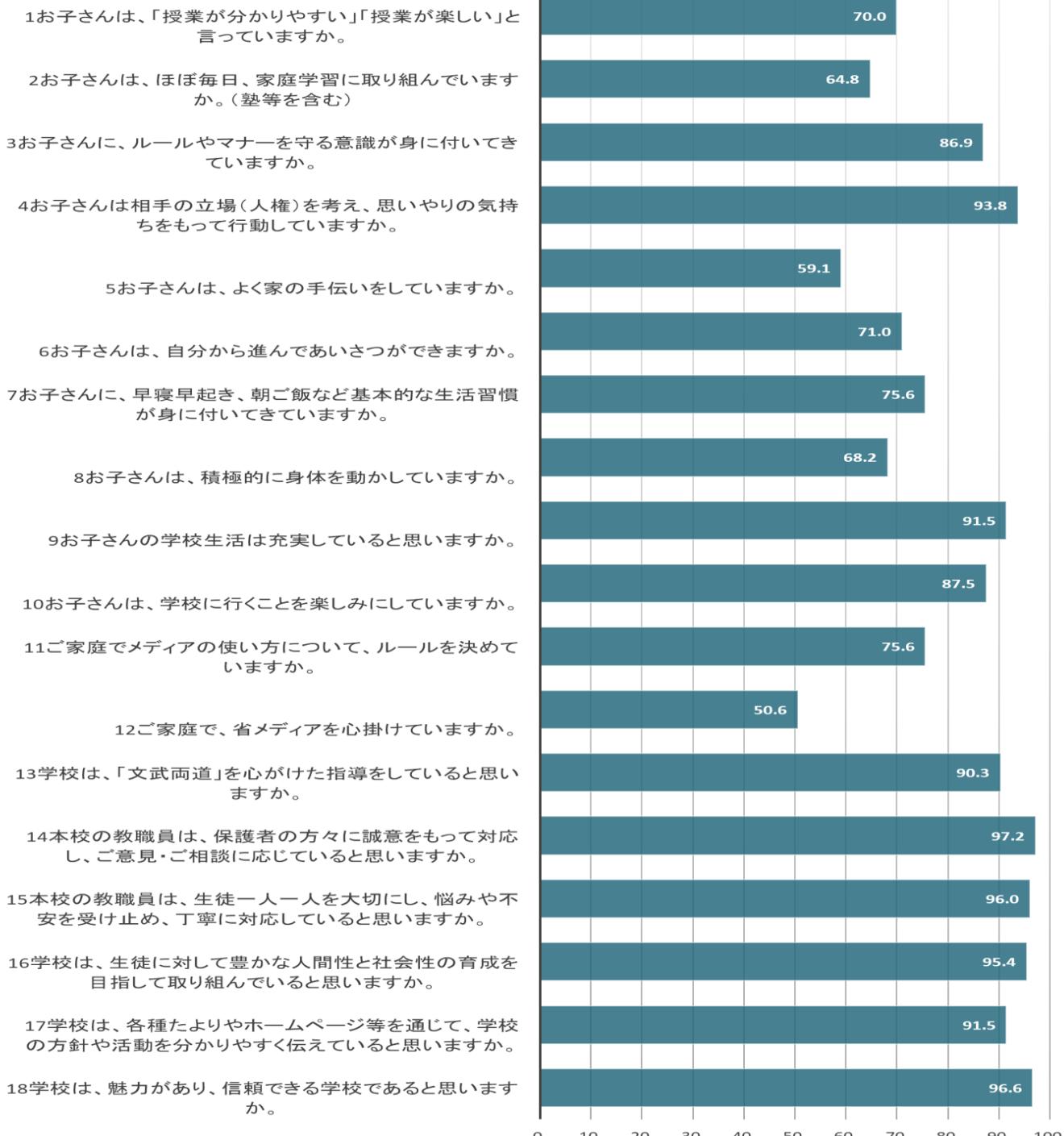
目標・志



後期学校評価アンケート(保護者・生徒)の結果を報告します

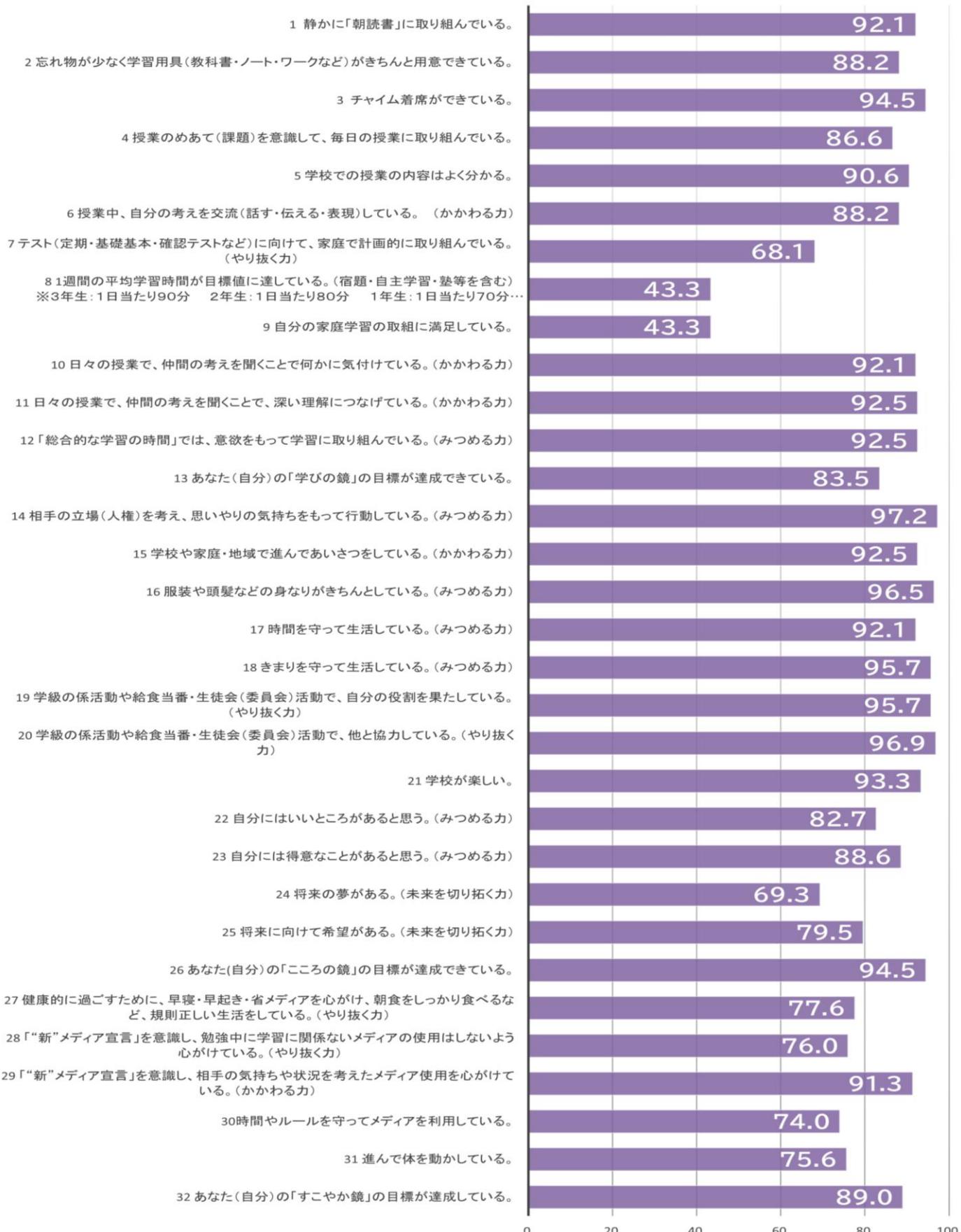
12月に行った、後期学校評価の結果をまとめました。前回と同様に、4段階で評価していただき、3・4を肯定的評価としています。前期の肯定的評価との比較を通して、成果と課題を共有し、今後の教育活動に役立てていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。(なお、アンケートに記述いただいたご意見・ご質問については、12月の保護者面談時に回答させていただきました。)

R7 学校評価 保護者(後期)



18項目中10項目で前期を上回る結果となりました。前期を下回った項目の中で、特に項目1の分かりやすい授業、楽しい授業を目指して取り組んでまいりたいと思います。また、項目11のメディアの使い方のルールはわざかですが、前回より上回りました。引き続きご家庭での取組のご協力をよろしくお願ひいたします。項目13～16、18について高い評価をしていただき、ありがとうございます。今後とも、教職員一丸となって取り組んでまいります。よろしくお願ひいたします。

R7 学校評価 生徒学校生活(後期)



自分を厳しく見つめるようになったのか、評価が下がった項目が増えました。そのような中で、項目21の「学校が楽しい」、項目23の「自分には得意なことがあると思う」という項目の評価が上がりました。自己肯定感が高いのはとてもいい傾向です。前期ともに、項目8. 9の家庭学習の取組についての評価が低い傾向があるようです。こつこつと取り組んで自分を高めるための努力をしていってほしいと思います。

令和8年度 鏡友会委員長・本部役員の委嘱式

1月16日(木)生徒集会の中で、令和8年度の鏡友会(委員会)の委員長と本部役員の委嘱式がありました。武田朋樹新生徒会長から、それぞれに委嘱状が手渡されました。終わりに、来年度の鏡友会について、「生徒の皆さんの協力なしでは、鏡友会の活動は成り立ちません。ぜひ、皆さん之力を貸してください。全員で一緒に鏡が沖中を創っていきましょう!」と締めくくりました。来年度の鏡中をよりよいものにできるよう、リーダーもフォロワーも協力して、伝統を引き継ぎながらも新しいことにもチャレンジしていってほしいと思います。

※来年度から委員会を再編する予定です。今、その準備を進めています。



【委員長】

大橋 淳平
布施 夏帆
笠井 咲羽
田中 琴音
深津 蒼太
鈴木 夏乃巴
関 暖絆

【本部役員】

2年	大掛 聖和
	菅野 修斗
1年	小林 笑理
	太古 虎宇牙
	廣松 奏海
	加藤 多恵

新入生説明会で1年生合唱を披露

1月16日(金)に新入生説明会が行われ、その中で、1年生が昨年と同じように歓迎合唱として校歌を披露しました。4月に入学して10か月が経とうとしています。行事や様々な活動を通して大きく成長しました。

この4月からは先輩として、2・3年生から教えてもらったように新入生をリードできる2年生になることを期待しています。



2月の予定



2月 2日 (月) 生徒会専門委員会

3日 (火) P T A三役会

4日 (水) 基礎基本テスト英語 (1年)

5日 (木) 生徒総会②

9日 (月) 公立高校特色化選抜面接等

11日 (水) 建国記念の日

12日 (木) 公立高校特色化選抜内定通知

12日 (木) ~13 (金) 1・2年 後期期末テスト

13日 (金) P T A運営委員会

16日 (月) 職員会議 公立高校一般選抜出願 (～18日)

23日 (月) 天皇誕生日

24日 (火) 職員会議 公立高校一般志願変更 (～26日)

